

Bloom
as
a leader.
SINCE 1901
Japan Women's University

図書館だより

目次

新図書館の完成	——白杵 陽	1
宝の山・図書館	——近内 麻乃	2
図書館で自分の世界を豊かに	——藤井 菜月	2
「学生が読みたい本」2018年度報告		
目白 初めての選書ツアー実施とPOP作成		
	——浜口 都紀	3
西生田 「学生が読みたい本（西生田）」お薦めコメントをありがとうございました	——吉原三紀子	3
図書館（目白）の移転作業について慣れることから始めよう！	——浜口 都紀	4
図書館利用案内	——中澤 恵子	6



図書館（目白）入り口横の鬱金

新図書館の完成

白杵 陽

新学期から新しい図書館が開館します。皆さんにも新図書館をいろいろな目的のために積極的に利用してほしいと思います。特にラーニング・コモンズは新図書館ではずっと広くなり、グループ学習など、さまざまな用途で使っていただければと思います。新図書館は本学出身の著名な建築家の妹島和世氏が設計しました。外壁は全面ガラス張りで、外周には螺旋状のスロープがあるユニークなものです。図書館の存在自体が日本女子大学を象徴するものになると確信しています。

ところで、図書館が所蔵している図書、すなわち印刷された本という媒体は当面、その役割を維持することでしょう。このところ電子媒体が急速に普及し、kindleをはじめとしてインターネットを利用して読書を楽しむことが盛んになって、読書のあり方も変化してきてはいます。しかし、活字離れがいわれずいふんと時間がたちますが、たしかにそのような傾向は加速化しているとはいえ、印刷媒体と電子媒体とを場合分けして使い分けしている人は結構多いように見受けられます。コミックなどはもっぱら電子媒体で見るという人もよく耳にします。皆さんはどうでしょうか。

読書のあり方と技術の進歩は密接に関係していることはいうまでもありません。書物史などをひも解くと電子媒体の出現は「革命」と呼ばれたりもしましたが、じっくりと読み込むという観点からはまだまだ印刷媒体へのこだわりは依然として根強いともいえます。

技術の進歩を考えると思い出すが、日本や外国の公文書館に赴いてどうやって史資料を読むかということです。もちろん、私自身が研究対象とする時代が両大戦間期であったことにも関わりますが、古い時代には外交行囊などで送られてくる外交文書は手書きが圧倒的でした。ただ、その他の印刷された貴重な公文書は原則的にはマイクロフィルムといったような媒体で読むことが普通でした。しかし、最近ではマイクロフィルムすらも過去のものになってしまい、インターネット上ではpdfファイルなどで簡単に読むことができるようになってきました。たとえば、インターネット上で公開されている国立国会図書館デジタルコレクションではさまざまな種類の史資料をインターネット上で簡単に読むことができますし、それを自分で利用するためにpdfファイルで保存できるようにもなっています。

このように、ごく普通の楽しみで読書するにしても、研究のために古い文書を読むにしても、その媒体手段は時代の進展を反映しており、その変遷の中に歴史を感じる事ができるのです。

(図書館長・史学科教授)

宝の山・図書館

近内 麻乃

貴女はどのようなときに図書館を訪れるだろうか。何か特定の読みたい本、あるいはレポート作成のための資料を借りるためだろうか。それとも、静かな空間で勉強や読書をするためだろうか。いや、本を読むのが得意ではないから減多に足を運ばないという人もいるかもしれない。しかし、何も目的がなくても図書館を楽しむことができる。今回は図書館の活用方法の一つを提案したい。

日本女子大学図書館の蔵書数は大変充実しており、その中には貴女の興味のある分野の本もあれば、そうでない分野の本もある。存在すら知らない分野について書かれた本もあるかもしれない。そこで、何気なく書架へ行って適当に本を一冊手に取ってみてほしい。まずは本そのものの物質的情報を味わう。どんなタイトルでどこの誰がいつ書いたのだろうか。表紙の色は。その本の手触りはどうだろう——。物質的に本を楽しんでからようやく本文を読み始める。ページをめくる音、指先にあたる感触。紙とインクのおい。そういったものを感じながら文章を読むと、意味などわからなくても本を楽しむことができるのである。そうしている中でピンとくる一冊に巡り会う。そのまま読み進めてもいいし、借りてじっくり咀嚼するのもいい。内容について深く調べてみるのもいいだろう。図書館員に声をかけて関連する本を紹介してもらうのもアリだ。そうしているうちに本とふれあった経験や新たな知識の欠片が貴女の中に蓄積していく。図書館とは未知のものとの出会いや新たな視点、世界を得ることができる場所なのだ。

サンسكريットの諺に「知識はこの世で最も尊い宝である。なぜなら、知識は決して奪われも、盗まれも、消費もされ得ないから。」というものがある。図書館を楽しむことで皆さんも一生ものの宝をたっぷり蓄えてみてはいかがだろうか。
(被服学科・2年次学生)

先輩からひとこと★先輩からひとこと★先輩からひとこと★先輩からひとこと★先輩からひとこと★先輩からひとこと★先輩からひとこと★先輩からひとこと★先輩からひとこと★先輩からひとこと★

図書館で自分の世界を豊かに

藤井 菜月

皆さんは図書館にどのような印象を持っていますか。小中高と違って難しそうな本や専門書ばかりの図書館に、なんとなく気後れした人もいるかもしれません。私も始めはそのように感じていましたが、授業の課題のための本がきっかけで、それから図書館によく行くようになりました。

図書館には、自分の興味関心がある本、授業に必要な本、あまり興味のない本などたくさんの蔵書があります。レポートや課題に必要な本を借りるだけ、いつも検索して必要な本だけを探すのでは、蔵書の一部にしか触れることはできません。皆さんには、必要なジャンルや興味のあるジャンル以外のコーナーも含め、一度図書館全体を見て回って欲しいと思います。気になる本を手にとってみたり今まで読んだことのないジャンルの本に触れたりすることで、自分の世界を広げることができると思います。私自身、元々探していた本だけでなく、その近くにある本にも興味が湧き手に取った経験があります。書架を眺めていて偶然見かけて読んだ内容が、自分の関心のある分野の理解に役立ったり、新しい興味につながったりしたこともありました。どのゼミに入りたいか考える際には、それまでに読んだ本から、自分の本当に関心のあることを見つめ直すことができました。このように、思わぬところで発見やつながりがあるかもしれません。多くの本に触れることで新たな知識や発見、多角的に物事を見る視点を手に入れることができます。それは自分の世界を広げたり深めたりすることのできる財産であり、自分の世界を豊かにしてくれます。

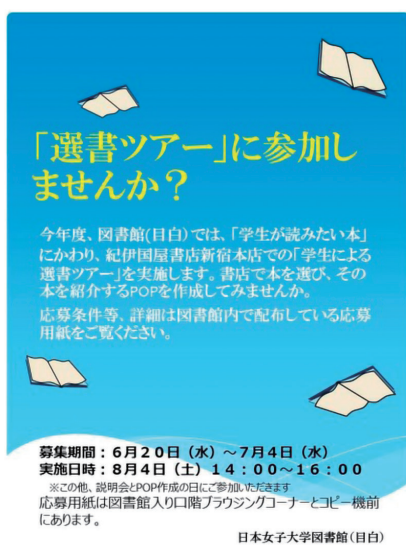
大学での学びは大変自由なものです。自分の世界を豊かなものにすることで、より充実した大学生活を送ることができます。うまく図書館を活用して、自分の世界をより豊かなものにしてください。
(教育学科・3年次学生)

「学生が読みたい本」2018年度実施報告

「学生が読みたい本」は、2006年度実施の図書館利用者アンケートで多数寄せられた「もっと気軽に読める本、話題の本を大学図書館の蔵書に加えてほしい」との声を受け、2007年後期より開始されました。選ばれた図書は目白・西生田ともに入口近くに展示しており、人気を集めています。今年度の実施状況を報告します。

目白 初めての選書ツアー実施とPOP作成

浜口 都紀



目白キャンパスでは今回初めての試みとして、本学を含めて7つの女子大学による「東京の女子大学学生が選んだおすすめ本」フェアに参加することになった。各大学の学生が、おすすめ本のPOP（店舗などで販売促進のためにつける短いメッセージ）を作成し、書店の店頭の本と共に展示するというものである。これに伴い、これまでの「学生が読みたい本」で行ってきた「応募用紙」による申し込みではなく、書店の店頭で実際の図書を見て、読みたい本を選んだ後、その本のPOPを作成していただくという条件で、6月から7月にポスター等による参加者の募集を行った。最終的に7名の応募者があり、8月初旬の大変暑い土曜日の午後、紀伊国屋書店新宿本店に集まっていた。7人は、書店の担当者から簡単な機器の操作説明を受け、バーコードリーダーとフロア案内を握りしめて広大な書店の中に散った。実際の作業時間は2時間ほどだったが、時間が足りなかったという

方が多かったようである。

後日、選ばれた図書のリストが書店から提供され、図書館は複本調べなどを行い、予算も考慮した上で図書を購入し、大至急整理した。夏休み明けにはPOPを作成するための日を設け、選んだ図書の実物をじっくり見ていただきながらの作成作業が行われ、個性あふれるPOPが完成することになる。いずれもイラストを駆使した力作ぞろいのPOPは、全点が10月9日から26日まで図書館（目白）の玄関ホールで展示され、12月にはその中から選ばれた8点が、書店の店頭で「東京の女子大学学生が選んだおすすめ本」コーナーとして展示された。紀伊国屋書店のホームページには参加大学別にPOPが掲載されている。

2019年度以降の実施がどのような形になるかはまだ未定だが、興味を持った方はぜひ図書館内の掲示やHPにご注意いただきたい。（図書館課長）

西生田 「学生が読みたい本(西生田)」お薦めコメントをありがとうございました 吉原 三紀子

毎回大盛況の「学生が読みたい本（西生田）」募集、2018年度も前後期合わせて245件と多数の応募がありました。今回は「学生が読みたい本（西生田）」図書のお薦めコメントを前期募集図書の

「学生が読みたい本」 (西生田)募集案内

日本女子大学図書館西生田
～あなたが大学図書館にあった方が良いと思う本、
読みたい本をお出ください～

◆ 受付期間
2018年度前期 5月7日(月)～5月15日(火)
2018年度後期 10月1日(月)～10月9日(火)

◆ 申込方法
西生田図書館内に設置の「学生が読みたい本」受付箱に希望
申込用紙に記入の上、投函してください。
申込書1枚に1タイトルでお申込みください。

◆ 届証、貸出資料、電子書籍、プリント本、マンガ、同人誌、学校教科書、教職員用図書、その他
公開されている全ての蔵書の中に登録されます。

◆ 受付期間終了後、図書館で採択した「個人貸出」の協定は、図書館の蔵書にて確
認ください。同一ジャンルで多数の応募があった場合は選別させていただきます。採録の理由
により全ての応募品に貸出権がありません。採録品については図書館ホームページでお知らせ
いたします。

◆ 個人資料は、西生田図書館内の「学生が読みたい本」コーナーに並びます。希望された方への選
別、取り扱いはございません。

「個人貸出協定制度」と「学生が読みたい本」の違い

個人貸出協定制度	学生が読みたい本
希望目的	研究のため
受付期間	研究目的に限らず、大学図書館にない方が良いと 思う本、読みたい本
受付場所 (※採録受付期間)	随時 2018年度の受付 5/7～15 10/1～9
受付場所	参考値 西生田図書館内の「学生が読みたい本」受付箱
個人貸出への連絡	行う 行わない
対象者	図書館利用者 学生(学属番号を持つ方)

利用開始日6月15日から後期募集直前の9月29日までの期間に寄せていただきました。結果、学部1年生から大学院生に渡り、20冊の図書について22枚のコメントがありました(『学生時代にやらなくてもいい20のこと』朝井リョウ著、『明日の子供たち』有川浩著は各2枚)。22枚の手書きコメントは西生田図書館入館ゲート入ってすぐの掲示板に貼られ、該当の図書が手前に並べられています。その掲示風景は『日本女子大学学園ニュース』(Vol.263, 2018年10月発行)に掲載されました。

コメントの一部を「」でご紹介します。

「ほっこり」「あたたかさ」「前向きになれる」の言葉には、コメントを読むこちらも「ほんわか」。

「わくわく」する図書、「え!」と驚きにあふれる図書、「〇〇学概論がよくわかる」図書、これは読まなくてはなりません。

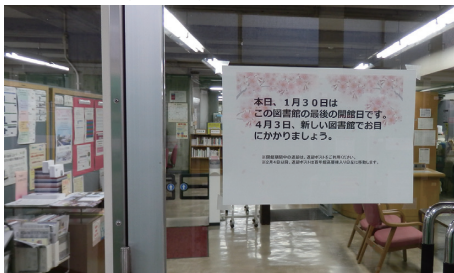
「靡げな不安」「悩み」を抱えて「模索」「成長」する著者や主人公を「見届ける」。人に心を寄せて学んでいる読者が、そんな読み方を教えてくれます。

「考えが変わる」「何度も気づかされる」「どう向き合うか考えさせられる」と「自分が今まで見ていた世界とは違う」発見をした読書体験を伝えてくれます。

「大切な人にすぐにでも会いたくなる」「家族の大切さが身にしみる」「他の作品も読みたくなる」「もう一度読みたくなる」、読むと次の行動を起こしたくなる気持ちも伝わってきます。

1枚200字ほどで渾身のコメントをありがとうございました。掲示で貸出が増えることを期待したところ、手前20冊の貸出中表示が続いています。心ばかりのお礼としてカウンターでお渡しした西生田キャンパスの四つ葉のクローバーは、本を読むことで「幸せな気持ちになれる」お手伝いができたでしょうか。(館員・西生田図書館)

図書館(目白)の移転作業について



記事を書いている時点で完了した作業、これから行われる予定の作業を合わせてご紹介しておきたい。

旧図書館から新図書館へ移動する資料は約66万冊、更に事務室内にある処理中の資料などが加わる。移動距離が短いとはいえ、目白通りを渡った新しい図書館へすべての資料を運び込み、並べ直さなければならない。1月には定期試験が行われているため、利用への影響を最小限にするため作業は2月以降に開始することになったが、4月の開館時には移動が完了している必要がある。後で触れるが、今回移動するのは蔵書だけではない。なかなかハードなスケ

浜口 都紀

2019年2月～3月の間、目白の図書館(以下、「旧図書館」)は閉館し、新図書館への移転作業が行われている。この号が発行される時点ではまだ作業の最中であるはずだが、2ヶ月もの閉館中、旧図書館の中

では何が行われているのか、気になる方もおられよう。今回は、この





ジュールとなった。

まず、2月1～3日の一般入試終了後に正面入り口が封鎖された。これは、箱詰めされた大量の資料や大型の什器類の搬出が正面入り口側から行われるため、安全を期するための工程である。この時点より、館員も含め、出入りする人は第二体育館側にある小さな入り口を利用することになる。なおこの間、返却ポストは百年館高層棟のロビーに移動している。

引き続き、移転する図書1冊1冊のバーコード読み込み作

業が行われる。読み込んだデータは図書館の所蔵データとマッチングを行い、移転の時点で確かに書架にあったことを確認するのである。この作業の一部は、1月の開館中に前倒して実施した。

読み込み作業が終了した箇所から、箱詰めが行われる。箱詰めには段ボール箱と、プラスチック製の折り畳みコンテナが使われるが、



一部の資料はブックトラックに積まれたまま運ばれる。手慣れた作業員の方々により資料が箱詰めされ、行き先のラベルが貼付され、

整然とトラックに積み込まれ、目白通りを渡って新図書館へと運ばれていく。運ばれた先では、箱から取り出して事前シミュレーションのとおり配架されるという手順となる。



ところで新図書館では、最下層の地下1階に大容量の電動式集密書架が設置される。洋書や洋雑誌は全てこの集密書架に配架されるが、和書は出版年により、新しいものは地下1階、1階、3階の固定書架に、発行後一定の期間が過ぎたものは地下の集密書架に収められることになる。旧図書館では同じ書架に並んでいるものを別の場所に分けて配架するため、新図書館での配架計画については複雑な計算が必要で、

事前に綿密なシミュレーションが行われた。移動作業は今回で完成というわけではなく、2年後のキャンパス統合時には西生田キャンパスからの資料が合流することになっている。開館当初は、特に固定書架がずいぶん空いているように思われるかもしれないが、計算によれば少々余裕があるのもそう長い間ではないと予想される。いずれにせよ、これまでと同様、貴重書などを除くほとんどすべての書架に利用者が直接アプローチできる「全開架」という本学図書館の特徴は、新図書館でも保たれることになる。



蔵書の他、旧図書館で利用されている木製の机や椅子の一部も、LED照明をとりつけるなど若干の改造を加えた上で、新図書館で再利用されることになっている。みなさんが見慣れた、長年にわたり大切に使われてきた家具が、新たな環境でどのような形で活用されているかは、ぜひ実際に確かめてみていただきたい。

資料の移動作業が終了しても、最終的な書架ならしや書架のサインの調整、データの変更など、移動にともなう作業はまだまだ続いていく。4月には新しい図書館で皆さんをお迎えできるよう、準備を進めているので、どうか開館を楽しみにお待ちいただきたい。(図書館課長)

慣れることから始めよう！—図書館利用案内—

本学の学生・教職員・卒業生など利用資格を持つ方は目白・西生田の両キャンパスにある大学図書館を利用できます。大学図書館は大学での研究活動を支えるための学術機関ですから蔵書構成も他の図書館とは異なり、躊躇う人も多いでしょう。大学図書館を使いこなすには日頃からその利用に慣れておくことが大切、まずはこの案内を片手に館内散策することをお勧めします。資料・施設・スタッフとの出会いや発見を通じ、徐々ににお気に入りの過ごし方や使い方を見つけてください。

1. 利用カードの交付

初めて大学図書館を利用する方は、学生証、教職員証を持参の上、2階（エントランス階）カウンターで登録手続きをし、利用カードの交付を受けてください。卒業生は身分証不要です。**利用カード（目白・西生田共通）**は登録した本人のみ有効であり、図書館への入館、図書の貸出など、図書館で各種サービスを利用するのに必要です。



2. 資料を探す

(1) 直接書架へ行く

この図書館は**開架式**です。図書・雑誌を書架で直接手に取り見ることができます。資料は、和書、洋書、雑誌、参考図書、大型本など、その性質や形態によってまとめて配置されています。また、同じ主題(テーマ)が集まるよう、和書は日本十進分類法(NDC)、洋書はデュエイ十進分類法(DDC)により分類され、書架に並んでいます。なお、和装本、視聴覚資料など、一部の資料についてはスタッフが出納します。利用を希望する場合はカウンターまで申し出てください。

(2) OPAC (Online Public Access Catalog : オンライン目録) で検索する

書名または著者名、あるいはキーワードが分かっている時は、OPACで本学の蔵書を検索し、請求記号で配置場所を調べることができます。OPACは図書館ホームページから利用してください。インターネット環境があれば、どこからでもアクセスできます。

☆ 日本女子大学図書館ホームページ URL ☆

< Web サイト > <http://lib.jwu.ac.jp/>

図書館ホームページのフルバージョンです。パソコン利用を想定して提供していますが、詳細情報を確認できますので、スマートフォン等モバイルからも積極的にアクセスしてください。

< 携帯サイト > <http://lib.jwu.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>

テキストベースなのでフィーチャーフォン利用でもアクセス可能です。蔵書検索、My JWULIS、開館カレンダー、緊急のお知らせを閲覧及び利用できます。なお、開館カレンダーは開閉館情報のみですので、開館時間等詳細情報を知りたい場合はWebサイトの開館カレンダー（詳細）から確認してください。

< モバイルサイト (スマートフォン対応) >

App Store、Google Play ストアから「Ufinity」と検索してアプリを入手できます。

「Ufinity」の中から「日本女子大学図書館」を選択設定してください。蔵書検索、My JWULIS、新着案内、貸出ランキングが利用できるほか、Webサイトや携帯サイトへのリンクも提供しています。





図書館ホームページから **My JWULIS (Japan Women's University Library Information System)** も活用しましょう。My JWULISは当館が提供するオンライン・サービスです。OPACの検索結果から予約（貸出中図書予約，他キャンパス図書館所蔵図書取り寄せ）ができるほか，検索結果の保存をインターネット上で行うことができます。

(3) 参考係に相談する

参考係は皆さんが必要とする文献や情報を探し出すサポートをしています。資料の検索方法がわからない，必要な資料が見つからないという時は相談しましょう。

(4) 図書館開催の講習会に参加する

図書館では資料の探し方やデータベースに関する講習会を開催しています。その内容には，図書館利用におけるエッセンスがぎゅっと濃縮して詰め込まれています。2019年度に関しては，図書館ホームページや館内掲示，JASMINE-Naviにてお知らせします。ふるって参加してください。



3. 図書を借りる

借りたい図書を見つけたら，利用カードと一緒にカウンターへ持参してください。貸出は必ず本人が手続きしてください。なお，**図書の返却が遅れている間は貸出できません。図書を延滞すると，遅れた日数分だけ貸出停止になりますので，ご注意ください。**

4. パソコンを利用する

図書館利用者パソコンには，常時起動状態ですぐに学術情報を検索できる **OPAC 端末**（ディスプレイ左下に青ラベル貼付）と学術情報に加えてOffice2016（Word，Excel，PowerPoint）やホームドライブを使用できる **JASMINE 端末**（JASMINE アカウントでログイン：ディスプレイ左下にピンクラベル貼付）があります。JASMINE 端末には館内に設置されているデスクトップ型以外に**貸出ノートパソコン**（館内限定）もありますので活用してください。インターネット環境も充実し，**全館 JASMINE-Wireless ポイント**となっています。

5. 施設を利用する

図書館には、図書館資料を使ってグループ学修する**グループ研究室**、新聞や情報誌などがあるスペース、DVD・ビデオ・CDなどを楽しめるスペースなど様々な施設があります。

新図書館（目白）2階ラーニング・commons 西生田図書館2階泉ラーニング・スペース（西生田） 利用案内

新図書館（目白）2階ラーニング・commonsと西生田図書館2階泉ラーニング・スペース（西生田）は、可動式机・イス、各種機器類を備え、自由にグループ学修などができます。各種機器の貸出・利用方法については2階カウンターで案内します。さらに、学科・専攻推薦を受けた本学学生（学部上級生、大学院生）の**ラーニング・サポーター**に学修相談ができます。サポーターの専門分野など時間割は当スペース内の掲示で確認できます。

目白は3つのエリア（可動エリア・固定エリア・学修相談席）に分かれ、総座席数は74席です。**インタラクティブ機能内蔵プロジェクター（卓上投影用）、モニター付大型テーブル席、電子黒板、80型ロールスクリーン（携帯型）**を備え、**ノートパソコン、モバイルプリンター、可動式プロジェクター**も貸出します。

西生田は座席数14席、**インタラクティブ機能内蔵超短焦点プロジェクターや超短焦点用80型ロールスクリーン（携帯型）、4階グループ研究室Bに電子黒板**を備え、**ノートパソコン**も貸出します。

6. 他大学図書館協定利用

日本女子大学図書館は、**学習院大学図書館（2009年11月1日施行）、お茶の水女子大学附属図書館（2011年11月1日施行）、跡見学園女子大学図書館（2013年11月1日施行）と図書館相互利用協定を締結しています。**f-Campus（5大学単位互換制度）も併せ、下表にて紹介します。各図書館の規則・マナーを守って利用しましょう。

	図書館相互利用協定			f-Campus (5大学単位互換制度)
協定校	学習院大学図書館	お茶の水女子大学 附属図書館	跡見学園女子大学 図書館	学習院大学、学習院女子大学 立教大学、早稲田大学
対象者	本学発行の学生証・教職員証所持者			f-Campus 受講証を 所持する学生
サービス 内容	館内閲覧、複写 図書の貸出	館内閲覧、複写	館内閲覧、複写	館内閲覧、複写

*詳細は、図書館ホームページ「協定校利用案内」(<http://lib.jwu.ac.jp/lib/KG.html>) 参照。

(館員・閲覧係 中澤恵子)

編集後記 いよいよ新図書館への移転作業が始まった。正門の向かい側には、ガラス張りの新しい図書館が次第にその姿を現しつつある。既に複数の方々から見学のお申込みもいただいております。注目の高さを感じている。移転の準備作業中はお不便をおかけしたが、4月からは新たな環境を満喫できるはずである。また、この春卒業される皆さんも、卒業後にカウンターで簡単な手続きをしていただければ引き続き利用が可能なので、この機会にキャンパスを再訪し、新しい図書館をぜひご活用いただきたい。(浜口)

平成30年度図書館だより編集委員：浜口都紀、水嶋寿恵、吉原三紀子